

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	大三島学	学年	第3学年	類型	I型
単位数	2単位	教科書	大三島町誌				
補助教材							

学習目標	大三島について学びながら多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査	
1 学期	4月	1 大三島の歴史 (1) 原始・古代	・古代から大三島に人が居住していた歴史を理解する。 ・大三島が瀬戸内海交通の要衝であったことを中央とのつながりから考察する。 ・藩政時代の大三島の歴史を理解する。		
	5月	(2) 中世 (3) 近世			
	6月	(4) 近・現代			
	7月	”	期末考査		
2 学期	8月	2 大三島の自然と観光 (1) 自然と地理	・大三島の自然と地理について理解する。 ・大三島の観光について、現状を理解するとともにその課題を考察する。		
	9月	(2) 観光			
	10月	”			
	11月	3 大三島の文化 (1) 信仰 (2) 民俗	・大山祇神社が瀬戸内地域の信仰の中心であったことを理解する。 ・大三島の伝統行事や日常生活における文化について理解する。		期末考査
	12月				
3 学期	1月	(3) 文化財	・大三島の文化財について理解するとともに、今後の文化財の保護や伝統文化の継承について課題を考察する。	学年末考査	
	2月	・自宅学習			
	3月				

学習の方法	・探究学習だけでなく、講義型の授業で歴史の基礎知識を養う。 ・グループワークやペアワークの時間をとり、生徒が主体となって考える時間をつくる。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査		